

イエメン・フレンズ第5回閣僚会合
(共同議長声明骨子)

総論

- イエメン・フレンズ参加国（以下、「フレンズ」という）は、イエメン政府の開発及び政治、経済、治安、人道分野における改革計画を支援する重要性を強調。
- フレンズは、過去の閣僚会合でのコミットメントの進捗状況を評価し、以下の主なトピックについて議論。
 - ✓ 国民対話及び憲法改正の状況
 - ✓ 2014年2月の選挙に向けた準備
 - ✓ 2012年の79億ドルの対イエメン支援の実施状況
 - ✓ 治安（軍、治安、司法当局の改革を含む）
- フレンズは、次回会合を2013年9月の国連総会のマージンで開催することを決定。

政治

国民対話

- フレンズは、本年3月18日からの国民対話の開始を歓迎し、国民対話が政治的移行の要であり、イエメン国民が新しいイエメンを作り上げる唯一の方策であることを確認。フレンズは、全ての関係者が同対話に積極的かつ建設的に参加することを奨励。
- フレンズは、イエメン南部を含む政治問題を解決することの重要性を強調。
- フレンズは、本年2月15日に発出された安保理議長声明を歓迎。

選挙

- フレンズは、イエメン政府が発表した2014年2月の大統領選挙及び国会選挙のタイムテーブルに関する計画を歓迎。
- フレンズは、選挙を実施するための国際社会からの資金協力を歓迎。

経済

- フレンズは、2012年に国際社会がプレッジした79億ドルの支援のうち、ディスバースされたのは18億ドルであることに留意した上で、援助の早期実施のためイエメン政府とドナーが協働することを奨励。
- フレンズは、ドナーによるプレッジの消化吸収能力を強化し、プロジェクトの実施を監督するエグゼクティブ・ビューローの設置を歓迎。

人道状況

- フレンズは、イエメン人口の半数以上にあたる1,300万人が何らかの支援を必要としているという厳しい人道状況及び人道支援の重要性に留意。

治安

- フレンズは、内務省及び国防省の再編に関する大統領令を歓迎し、イエメン政府とパートナーに再編計画を支援することを奨励。
- フレンズは、アラビア半島のアル・カーイダの脅威に対処することの重要性で一致。